

# 納得いくまで選び抜いたフロアで オンリーワンのくつろぎ



1日のうち最も多く肌に触れる床材は、住まいの印象や住み心地を左右する、重要な住宅パーツです。数ある床材の中でも近年注目を集めているのが、木の温もりが素足で感じられる無垢フローリング。そこで、その魅力と選ぶ楽しみ方についてさまざまな角度から探ってみました。

札幌市・Kさん宅  
**侘びた風情のナラ無垢フローリング**

雪の庭園を望む28畳のLDK。開放的な空間に足を踏み入れると、淡い緑青色を浮かべたナラ無垢のフローリングが目に飛び込んできました。侘びた風情、温かみのある感触が、古民家のエッセンスを織り込んだ和の空間にしつくりと馴染んでいます。

「ここは多忙な生活を離れ、ほどできる空間がほしくて、昨年暮れに新築したゲストハウスです。静寂の空中庭園へ延びる通り庭をテーマに、和を意識したつらいにこだわりました」とオーナーのKさん。かねてから親交のあったSAWA医療設計の澤匡文さんの紹介で、建築家の大田司さんに設計を依頼。理想のくつろぎ空間を求めて何度も話し合いを重ね、仕上げの素材を吟味しました。なかでも苦心したのが床暖房を採用することにしたLDKの床材の選定でした。

「通り土間に張る緑青色の磁器タイル」と、フローリングの色やテイストを合わせたいと考えていました。ところが、一般的な無垢の床暖房用では、望むところの色合いや風合いを実現するのは困難でした」

**3回の試作を重ねたビンテージ加工**

大田さんは、昨年8月にフローリングメーター「シーゲル」のショールームが札幌にオープンしたことを思い出し、Kさんご夫婦と相談に訪れました。

「私たちのイメージを実現させるため、専門家の立場から表面加工の仕方や、その方法でいろいろな提案をしてくれました。何度もサンプルを作っていたとき、それを見て、触れて決めたので、納得できました」と奥さん。大田さんも「普通は規格外のことには敬遠されがちなのですが、一緒に面白がって、知恵をしづつてくれたのがありがたかったです」と話します。

3回の試作を経て完成した特注フローリングは、ビンテージ加工が施され、無公害の塗料が塗られています。加工部分に塗料が濃く染み込み、アンティーク風の独特な風合いになりました。

「完成して、初めて足を載せたときに感じ

和の空間にしつくりと馴染んでいます。

「ここは多忙な生活を離れ、ほどできる空間がほしくて、昨年暮れに新築したゲストハウスです。静寂の空中庭園へ延びる通り庭をテーマに、和を意識したつらいにこだわりました」とオーナーのKさん。かねてから親交のあったSAWA医療設計の澤匡文さんの紹介で、建築家の大田司さんに設計を依頼。理想のくつろぎ空間を求めて何度も話し合いを重ね、仕上げの素材を吟味しました。なかでも苦心したのが床暖房を採用することにしたLDKの床材の選定でした。

「通り土間に張る緑青色の磁器タイル」と、フローリングの色やテイストを合わせたいと考えていました。ところが、一般的な無垢の床暖房用では、望むところの色合いや風合いを実現するのは困難でした」

3回の試作を経て完成した特注フローリングは、ビンテージ加工が施され、無公害の塗料が塗られています。加工部分に塗料が濃く染み込み、アンティーク風の独特な風合いになりました。

「完成して、初めて足を載せたときに感じ

